

**製品名: OAS2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15078**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	82kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OAS2
別名	OAS2; 2'-5'-oligoadenylate synthase 2; (2-5')oligo(A) synthase 2; 2-5A synthase 2; p69 OAS / p71 OAS; p69OAS / p71OAS
遺伝子 ID	4939.0
SwissProt ID	P29728
免疫原	抗血清はヒト OAS2 の N 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

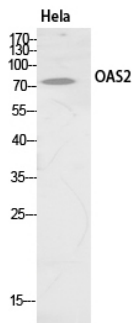
**背景**

2'-5'-オリゴアデニル酸合成酵素 2 (OAS2) ホモサピエンス この遺伝子は、ウイルス感染に対する自然免疫応答に関与する必須タンパク質である 2-5A 合成酵素ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質はインターフェロンによって誘導され、2'-特異的ヌクレオチド転移反応においてアデノシン三リン酸を用いて 2',5'-オリゴアデニル酸 (2-5A) を合成します。これらの分子は潜在性 RNase L を活性化し、ウイルス RNA の分解とウイルス複製の阻害を引き起こします。この遺伝子ファミリーには 3 つの既知のメンバーがあり、12 番染色体上にクラスターを形成しています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。 [RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: 二本鎖 RNA に結合し、ATP を重合させて PPP(A2'P5'A)N オリゴマーを形成し、これが潜在性 RNase L を活性化することで一本鎖 RNA を切断します。 ,機能: ウイルス感染に対する抵抗性、細胞増殖、分化、アポトーシスの制御に関与している可能性があります。 ,誘導: インターフェロンによって誘導されます。 ,類似性: 2-5A 合成酵素ファミリーに属します。 ,細胞内局在: ミトコンドリア、核、粗面/滑面ミクロソーム分画などのさまざまな細胞内分画と関連しています。 ,サブユニット: ホモ二量体。 ,

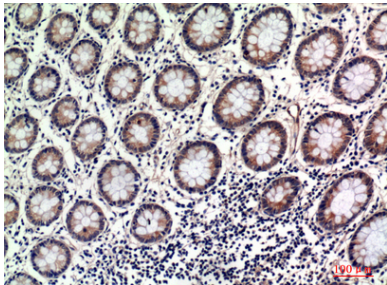
## 研究分野

DNA / RNA、RNA プロセッシング、エピジェネティクスと核シグナル伝達、クロマチン結合タンパク質、DNA / RNA 結合、微生物学、生物、ウイルス、RNA ウイルス、ssRNA プラス鎖ウイルス、SARS コロナウイルス、免疫学、自然免疫、サイトカイン、インターフェロン

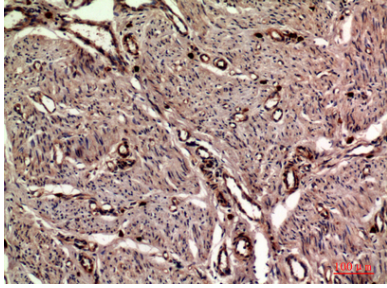
## 画像データ



OAS2 ポリクローナル抗体を用いた HeLa 細胞のウエスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ヒト子宮の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト子宮の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された